

西小は おおきな 家族
Family
～校長のたわいもない独り言～

平成 30 年 5 月 7 日 (月) No.6
発行人

連休に田植えが終わってほっと一
息の川崎先生。今度は草との闘いが・・・。

◇「ふと思う」こと◇

◆校門の少し前から走って玄関に向かう子どもがいる。きっと学校が楽しい場所なの
だと思う。元気にあいさつして、川崎の脇を走り去っていく。

◆校門の前で「いま何時ですか？」と聞き、8時10分になるまで校地に入らずに、
校門の前で遊んでいる3年生。登校時間について指導されたことをきちんと守ろうとす
るこの素直さ。そういうものを忘れかけている自分(大人)の心に響く。

◆ある日の朝、杉山 t がわざわざ校門まで出てきて、「昨日、こんなうれしいことが
ありました」と報告してくれた。内容を聞くと、こちらまでうれしくなること。今日は
朝から気持ちが軽やか。

◆橋本 t が「これ、校長先生の家近くじゃないですか？」と言って、地方情報誌の
コピーを持ってきてくれた。はいはい、もの見事に写真に写っているのは私の母です。
家の脇を水路が流れていて、家の前だけ少し広がっている。「つけえば」というここ
では、昔から洗濯物を洗ったり、野菜を洗ったりしているのだけれど、これが珍しいら
しい。そっか、川崎も昔から当たり前のように使っている“つけえば”だけど、そう言
えば他の地区にはないもんね。これも西地区の歴史なのか。

◆グランドでは3年生が体育でリレーをしている。校長室から見ている川崎に気づい
て手を振ってくれる赤色帽子組。ニヤニヤしながら手を振り返す自分の姿に、ちょっと
周りを見回してしまった(誰かに見られていたら恥ずかしいかも...)。大きな声援が
響いていてリレーは面白いな。が、今回はハプニングが...。それも含めて、これが小
学生なんだなと思う。同時に、片足スリッパで奮闘している築野 t は大丈夫かな?とも
思う(^_^)・・・今は治って良かった良かった(^)v

◆「今から“あわあわ手洗いの歌”を流します。外から帰ったらみなさん手を洗いま
しょう」と放送が入る。はあ?あわあわ手洗いの歌?いそいで放送室へ行き、そこに
いた放送委員に聞いてみる。「もう一度流しますか?」と言ってくれたので、流してもら
って聞いてみる。ほおっ~初めて聞く歌だ。どうやら過去にいた先生が作ってくれたみ
たい。聞くもの見るもの、み~んな新鮮に感じる。

◆校長室前の花壇で、3年生の女の子3人が何やら花の根元をゴソゴソしている。気
になって、何探しているの?と聞くと、3人とも手を広げて中身を見せてくれた。そこ
にあったのは「ダンゴ虫」。そのうちの一人は5~6匹を手のひらに集めていた。虫を
平気なのも西小の良さかもしれない。そう言えば、今朝の登校時に虫カゴを持ってきた
男の子がいた。なにを持ってきたの?と聞くと、“カメムシ”だという。いろんな虫に
興味がある年頃なんだね~(^_^)。

◆そして今度は1年生が体育。もう、見てるだけでかわいい。飯野 t の真似して体操
したり水平バランスとったり。同じように動作してるんだけど、バラバラなのもかわい
い(おいおい、おじさん(^_^))。そして校庭の端から端まで短距離走。その前に篠原 t
が試走。えっ?は、速い!!スピード落ちない。さすが(^)v。1年生の走る姿。か、か
わいい。次はボール投げ。というより地面にたたきつけ。そのボールを何人もで取り合
う姿もかわいい(おじさん、いい加減にしなさいってば...)。